

UIJ/OIT説明会を開催



7月25日（月）、Urban Innovation Japanの吉永氏の進行のもと、おためしイノベーションTOMIYAの説明会及び各課職員のみなさんとのワークショップが行われました。（※1）

まずはじめに他市町村の課題をケーススタディし、課題設定の善し悪しについて学びました。その後はあっとクリエーション株式会社（※2）の黒木氏の実績紹介等を通じて、イノベーション成功に必要な要素を学び、イノベーションの種になる富谷市の地域課題や通常業務における課題について個人毎アイデア出しを行い、他の参加者とシェアする時間を持ちました。

今後どのような課題が選出されるかはわかりませんが、職員と民間企業がワンチームとなってイノベーションを起こしていくプロセスを見るのがとても楽しみです。

（※1）Urban Innovation Japan（通称：UIJ）は、全国の自治体の課題と民間企業をマッチングするオープンイノベーション・プラットフォームです。UIJの富谷版がおためしイノベーションTOMIYA（通称：OIT）になります。「行政・民間企業・住民（富谷塾生等）」の協働により、行政課題や地域課題に対して民間のサービスやテクノロジーを活用し、最適な解決策の検証を行う事業です。

（※2）あっとクリエーション株式会社（大阪市）は、2020年度OITに参加し、都市整備課の課題を解決すべく防犯灯と道路照明灯の管理アプリを提供。実証期間を経て、本年度、富谷市が本格導入を決定しました。

スタートアップ創出プログラム

6月から始まったスタートアップ創出プログラム。オンラインによる「インプットミーティング」と参加者同士で進捗状況を共有し合う「定例ミーティング」を交互に開催しています。



7月5日にTOMI+で行われた定例ミーティングでは、原体験やユーザー定義など、宿題の進捗状況を一人ずつ発表しました。普段は一人でプログラムに取り組んでいる塾生たちが、大変さを分かち合ったり、情報を共有し合ったりする良い機会になりました。

また7月19日に行われたインプットミーティングでは、質問が活発に飛び交い、皆さんの意識の高さが感じられる会になりました。

富谷塾×シネジック(株)コラボ企画

富谷塾ABD勉強会@成田シネジック



富谷市成田地区にあるシネジック株式会社様の社屋をお借りしての富谷塾ABD（アクティブ・ブック・ダイアログ）（※3）の第2回目が7月27日に開催されました。6月から始まったこの勉強会は、起業家支援と地域貢献、社内への起業家マインドの伝播という理由・目的で、シネジック株式会社様が社屋を富谷塾に開放して下さることとなり実現した企画です。

今回はコンシェルジュ佐藤の進行のもと、男女7名の塾生が参加しました。学びのテーマ（課題図書）は『数値化の鬼』。日常におけるあらゆる価値観や物事を数値化していくことの意味や効果を学ぶ良い機会となりました。ABDそのものも初体験という参加者が多く、短時間でインプットとアウトプットを行うそのダイナミックなプロセスそのものに感動したという声もありました。

富谷市職員のみなさんに関心あるテーマを取り上げて実施してみるのも良いと考えています。

（※3）ABDとは、一冊の本を参加者同士で手分けして読む勉強法です。読んだ部分の内容をシェアし、さらにシェアされた内容についてみんなで意見を交わすことによって、理解を深めます。



IKEAから家具が寄贈されました



家具量販店のIKEA様から寄贈いただいた家具がTOMI+の1階に設置されました。オフホワイトを基調とした木製のやさしい雰囲気のテーブルやソファが入ったことで、よりアットホームな立ち入りやすい快適空間が作られました。市民にとって益々の憩いの場、より多くの方が行き交う場所になればとても嬉しく思います。